



令和2年度 清水小学校だより

令和2年5月8日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子

臨時休業 延長へ

今日は久しぶりに、子どもたちの声が響いています。やっぱり学校には、子どもたちが一番です。これまでひっそりとした学校で、とても寂しい思いをしていましたが、こちらも元気をもらったようで、うれしく思います。子どもたちのパワーは、本当にすごいものです。

すでにご承知のように、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月3日、全国への緊急事態宣言が31日まで延長されました。これを受け、佐世保市では5月11日から17日までの小中学校・義務教育学校の一斉休業が延長されました。3月からの一斉臨時休業、春休み明けから15日余り、新年度の始業式を、そして入学式を終え、学校生活が軌道に乗り出したところでした。また1週間、子どもたちの姿を学校で見ることができないのは残念ではありますが、感染防止を防ぐことが命を守る上で何よりも大切ですので、ご家庭でも3密を避けるなど、感染防止への取り組みをお願いいたします。

なお学習につきましても、各学年でそれぞれ課題が出されていますので、計画的に取り組ませてください。健康管理に留意し、元気な姿でまた、5月18日に子どもたちに会えるのを心待ちにしています。以上、何かと大変でしょうが、ご理解の上、よろしくお願いいたします。



子は親の鏡



けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんになる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

褒めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分を好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

優しく、思いやりをもって育てれば、子どもは、優しい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭に育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる



ドロシー・ロー・ノルト著 石井千春訳 「子どもが育つ魔法の言葉」より